

---

# 十王トランスフォーマーの謎

台風X号

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

トトランスマーマーの謎

### 【著者】

Z4985V

### 【作者名】

台風X号

### 【あらすじ】

今まで明かされなかつた眞実とともに、トランスマーマーの伝説が紡がれる。

## キャラクター紹介とあらすじ

あらすじ

ある時、ディセブティコンとオートボットの戦いにわずかな謎を生む事件があった。その事件をオートボットはその原因を調べるために、調査に乗り出すことにした。ディセブティコンは、その原因を恐ろしき存在として見ており、仲間にしようとしたぐらみ始めていた。

### キャラクター紹介

#### オートボット軍

オプティマス・プライム、オートボット総司令官。今回の謎を追うべく、自らの体を少しだけ改良した。十王の存在を全く知らない。トラックに変形する。のちに「闇魔」を獲得してパワーアップする。

バルクヘッド、オートボット調査官、オプティマスとともに情報収集と戦略に関する進捗報告を報告する旧友。十王を知らない。装甲車に変形する。「木」をのちに手に入る。

アイアンハイド、オートボット戦闘員、戦いの最中に漢字「水」を見つけた戦士。それ以降、水に関する能力でディセブティコンを撃退していく。十王を知らない。ワンボックスカーに変形。

バンブルビー、オートボット戦闘員、戦いの最中「不動」を見つけた戦士。それ以降不動の力でクリムゾンフィールドの力で相手を押しのけることができるようになった。コンパクトカーに変形。

ラチューツ、オートボット治療員、オプティマスに多大なる信用を

受け、更に親友でもある。口癖「～に。」は、興奮するときに良く口にしてしまう。救急車に変形。「土」をのちに手にする。

ウルトラマグナス、オートボット副司令官。戦いの最中「金」を見つけた戦士。それ以降、サンダー系攻撃を得意になった。五行トルンスフォーマーのレクイエムプライムの子孫である。重高機動戦術トラックに変形。

セーフガード、オートボット戦闘員、戦いの最中「变成」を見つけた戦士。それ以降、アフトヌーンブラスターという銃で相手を圧倒できるようになる。大型戦闘機に変形。

ロディマス、オートボット戦闘長、戦いの最中「火」を見つけた戦士。それ以降、ファイアー系統の攻撃ができるようになった。スポーツカーに変形。

ハイブロウ、オートボット戦略担当員、戦略を立てることが自らの誇りと信じている。その誇りが「五行」と「十王」の発見に貢献する。戦車に変形。のちに「阿弥陀」を手に入れ、相当のパワーを發揮するようになる。

## ディセプティコン

破壊大帝メガトロン、宇宙の支配を目論み、オートボット戦いの際「文殊」を見つけた。それ以降、かなりの強者になり、オプティマスが「閻魔」を獲得するまでは、メガトロンが優勢であった。ガンシップに変形する。

航空参謀スタースクリーム、メガトロンを自分の出世の邪魔者と言つており、裏切り行為が目立つ。必ずお仕置きされる。前進翼ジエ

ツト戦闘機に変形する。「ディセプティコン戦士の中で「サタンクロス」を知つており、死んだら彼に裁かれるという恐怖心を持つている。

破壊兵ラグナツツ、メガトロンに「五行」のことを教えた張本人。自ら五行の力があると信じ込むが、それは間違いであることに気づく。大型爆撃機に変形する。

音響参謀サウンドウェーブ、ディセプティコンの中でも、メガトロンより、かつての破壊大帝「デスカイダ」に憧れている。十王の一人と交信ができた途端に凍結して絶命したが、転生し、音楽破壊兵ブラストウェーブになる。

航空兵スカイハープ、メガトロンの命令に忠実で次期?2候補として持ち上がりを見せている。戦闘機に変形。

航空兵サンダークラッカー、ギャラクシーフォース同様天然かつ馬鹿なキャラ。?02のロンヴに刃向つて、翼を千切られて落とされたりと斬新なお仕置きを受けている。戦闘機に変形する。

破壊?02ロンヴ、かつての破壊大帝「デスカイダ」に支えられ、メガトロンに破壊大帝の座が変わつても文句を言うことなく誠実にデスカイダの行いをメガトロンに報告した。それからナンバー02として再任。スター・スクリームから嫌悪されている。戦闘機に変形する。デスカイダの面白い一面を見習い、サンダークラッckerをはじめたりすることもある。体罰の加え方もデスカイダに似ている。本人いわく「デスカイダ様の悪癖が移つた」のこと。

治療工作兵ノックアウト、傷ついたディセプティコンを治す役割を持つ。プライムと比べると自分の仕事に集中するタイプでサボりは

一切ない。暇な時だけ空を見上げたりと「ミカルな一面がある。4WDに変形する。暇な時、地球人とふれあい、地球に関する情報を集めている。メガトロンも同じようなことをしている。

ゾンビ兵スカイエイク、プライムで登場したのと同一人物。しかもゾンビという役割としては、ホラー・レベルを持つ。そのため、彼が登場するとホラー感が強くなり、ただ怖いだけとなる。変形ができなくなっている。また体を分離して動くことができる。生首と足を合体させて動くというゾンビならではの荒業も見せている。

雑魚兵团トウルバーズ、ディセプティコンの中でかなりの数を占めている。全員にさまざまの性格があるが「反逆」と「正義」という性格はない。オートボットにすぐに倒される。車と戦闘機の合体したものに変形する。

#### 五行トランスフォーマー

木、ヒイラトロン。「木」を司る五行トランスフォーマー。「ツリーバースト」という武器を装備している。戦車と格に変形する。プラントフォーマーもある。

火、レックガ。」「火」を司る五行トランスフォーマー。「トライデントファイア」「火」を司る五行トランスフォーマー。覆面パトカーに変形する。

土、ダブルパンチ。「土」を司る五行トランスフォーマー。「アーマーソイル」という武器を装備している。覆面パトカーに変形する。とてもなく怪力である。

金、レクイエムプライム。「金」を司る五行トランスフォーマー。

「ゴーランドボンズ」という武器を装備している。トライックに変形。五行司令官。

水、ウォータースクライン。「水」を司る五行トランスフォーマー。「レイクガン」という武器を装備している。戦闘用水上ボートに変形する。

十王トランスフォーマー。

サタンクロス、序列第1位の戦士。死亡したトランスフォーマーの生の罪を裁くという観点から閻魔大王と呼ばれている。プライマスに使える最高責任者として身を投じている。海外名、ジャッジマス・プライム（オシリスプライム）。戦艦に変形する。懺悔の道を切り開いてくれるシャクブレードを持つ。「閻魔」を司る。

ネメシスバスター、序列第一位。プライマスに使えし者でカオス化していく宇宙を浄化する役割を持つ。そのため、オートボットにも浄化の攻撃をすることもあった。大型戦闘機に変形する。「宋帝」を司る。

オメガスプライム、序列第三位。プライマスに使える者。戦いの霸者であり勇者もある。戦いによつて、罪の慰めができるという観点を持つ。巨大列車に変形。「变成」を司る。

スペリオンマキシマス、序列第四位。作中未登場。「秦広」を司る。

グレイテスト、序列第五位。作中未登場。「五道転輪」を司る。

ジェットスクライン、序列第六位。プライマスに使える者。大型戦闘機に変形する。最初にオプティマスと出会った。無双シーンが多

くみられる。「平等」を司る。

ゼータプライム、序列第七位。プライマスに使えし者。戦闘機動性トラックに変形する。余分なことを考えないでいる。力こそ正義主義者。「初江」を司る。

ウェーブカリスロット、序列第八位。作中未登場。「五官」を司る。

アルファトライオン、序列第九位。プライマスに使えし者。「泰山」を司る。戦艦に変形する。メガトロンと出会い、「ある」と言つてメガトロンに「文殊」を挙げた人物。

メトロフレックス、序列第十位。作中未登場。「都市」を司る。

ユニクロンズヘラルド、本作ではユニクロンは登場しないが、復活をもぐるむ者達が登場している。

サイクロナス、エイリアン型戦闘機に変形。

タランス、蜘蛛とヘリコプターに変形。

ラムジェット、戦闘機に変形。

ダブルフェイス、バイクに変形。

ノイズメイズ、スペースファイターに変形。

ダークネスプライム、トラックに変形。

ジョーカー、スペースファイターに変形。多数存在する。

ブルートティコン、今作は、ユニクロンズヘラルド事件の後に二つそりと登場するがあまり活躍をしない。

マグナトロン、戦闘機に変形する。

地球人

コラル、18歳。男。

アスリオ、17歳。女。

マスボ、18歳。男。

谷崎健臣朗たにざきけんしんろう、24歳。男。

シーズン制

シーズン1、1話～22話。

シーズン2、23話～43話。

ファイナルシーズン、44話～60話。

小説主題歌

シーズン全般OP「ミステリアストランスマーチ未知と十五  
と戦争と」

シーズン1ED「未来の名の下」

シーズン2ED「辛くなんかないもん」

シーズン3ED「When the judge, under  
the influence burn with love」

挿入歌「我等は五行トランスクロス」

挿入歌「裁け罪をサタンクロス」

キャラクター紹介とありすじ（後書き）

次回 第一話 新展開となる戦慄。お楽しみに！

## 第一話 新展開となる戦慄

トランسفォーマーの戦争「デラックスクウォータイマー時代」という新たな戦慄の時代に入った。

オートボットとティセプティコンは、死闘を繰り広げていた。

そんな中、謎のエネルギーがオプティマス達の前に現れ、何かを誘うかのように誘導させた。

伝説のトランسفォーマー達がついに明かされる。

サイバトロン星

オートボット達が出発用の船を準備していた。

「ディセプティコンよりも先にあの光の行方を追いかける。」

「焦るなよ口笛マス。ティセプティコンはよそ見をした隙に吹っ飛ばしたんだ、そう簡単には戻つてこないよ。」

「そういうわけじゃないぞ。」

彼等の所に来たのは、ティセプティコン戦士4名であった。

「スカイハープ、ロンヴ、ノックアウト、ラグナツ。」

「オートボット戦士たちよ、我々の攻撃でも食らえー。」

その時、五行の光がオートボットを守った。

「地球という星に誘われし者達よ、早く行き給え！」

水と火と金という文字が浮かび上がった。

「分かった。」

オートボット達は、アルファトライオンとサタンクロスとともに地球に向かつた。

ディセプティコンの待ち伏せがあつた。

「アルファトライオン、後は頼むぞ！」

「了解、サタンクロス殿。」

スタースクリームは青ざめた表情を浮かべた。

「サタンクロスだと・・・死んだら裁かれる。」

「なに、ブツブツ言つているスタースクリーム。」

スタースクリームは、突然メガトロンに飛びついた。

「おいつ、愚か者。離せ！」

「死にたくないですよメガトロン様。だってサタンクロスに裁かれたら俺達みんな地獄行きですよ。」

「スター・スクリーム、いい加減わしの左腕から離れろ！」

「怖いですよ。サタンクロスは、メガトロン様よりお強いのですよ。

「なんだと？」

「

## 第一話 新展開となる戦慄（後書き）

次回 第一話 地球に到着とサタンクロスの秘密。お楽しみに！

## 第一話 地球に到着とサタンクロスの秘密

メガトロンはスタースクリームの頭を手でわじづかみにした。

「どうこうことだ。それは…」

「メガトロン様の為にもこれは言わなければならぬことに」とがありましてサタンクロスの強さはトランسفォーマーの生きる罪を裁く役目を得ておる方。下手に出せば奈落に落とされるのがオチです。」

メガトロンはサタンクロスを手下にしておりとしていた。

「サタンクロス、話がしたい。」

「お前などに話は無用。すぐこここの場を立ち去れメガトロン。」

「断ることとか。面白いならば攻撃するまでだ。」

それを見ていたスタースクリームは口を開じた。

「駄目だ。メガトロン様にサタンクロスは倒せない。でもメガトロンが死ねば俺が破壊大帝の座をもらひうことができる。そうすれば忌々しいロンヴからも逃げられる。」

「何をそんなに喜んでいるスタースクリーム。」

「げつ、ロンヴ。」

「お前は破壊大帝になれる資格なんてねえよ。」

「ハルカーロンヴ、おまえだつて・・・」

「デスカイダ様は正しい決断で俺を?2にしてくれた。メガトロン様も同じようにした。スタースクリーム少しば空氣を読め!..」

メガトロンはサタンクロスに振り回されていた。

「くつ、トランسفォーム!」

「よほど、吾の攻撃を受けなければわからぬようだな。」

「トランسفォーム!」

メガトロンは剣を持ち攻撃した。

「覚悟、サタンクロス!」

「愚かだな。」

シャクブレードでメガトロンの剣を折り、顔の近くまで突き出した。

「メガトロン様。」

「ロング、相手はサタンクロスだ。メガトロン様でもかないっこない相手。」

「サタンクロス。十王の存在か。」

「ああ。しかも恐ろしく強い罪人の裁き屋だ。」

一方、オートボットは・・・

アルファトライオンによつて導かれた地球にたどりついていた。

「総司令官。五体のロボットがいます。」

「あれは五行トランസフｫーマー。」

「歓迎してくれそうだ。」

一方、ディセプティコンは・・・

メガトロンは窮地に立たされていた。

「サタンクロス・・・」

「メガトロン、そなたの罪は確認した。やがてオートボット差う司令官に倒される運命にある。」

サタンクロスはこやりとした表情で言つた。

「そのあとは我が裁く楽しみに待つていたまえ。」

そう言つてサタンクロスは去つて行つた。

## 第一話 地球に到着とサタンクロスの秘密（後書き）

次回 第二話 よつひに地球。お楽しみに！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4985v/>

---

十王トランسفォーマーの謎

2011年12月17日18時50分発行